

防災講演会アンケート集計結果

★講演会 参加者 26 名 回答者 22 名

集計:西川

■ あなたは次のどれにあてはまりますか。 **あてはまる 数字 に、○をつけてください。**

- 1 一般(保護者) 7名 2 一般(防災ボランティア) 3名 3 一般(福祉サービス事業者) 4名
4 その他(赤十字奉仕団 2名、保護者&防災ボランティア 1名、防災ボランティア&福祉サービス事業者 1名、
無回答 4名)

■ 災害から いのちや 生活をまもる「防災」が どうして 大切なことなのか わかりましたか。

- 1 わかった 15 名 ----- 2 すこしわかった 5名 ---- 3、4、5 0名 無回答 2名

どうして そう思いましたか？

- ・準備して備えておくことで、落ち着いて行動できるんじゃないかと思いました。
- ・突然起こる災害に備えられる。
- ・大切な人や物、大事なことを守るため、通常時にしていない事は非常時でも出来ない。だから通常時から防災することが大切。
- ・きょふ心からでは、動くことができることがわかり、が大切とわかった。(文意をくみ取れなかったので、本文ママです。)
- ・大事な人・物・ことを守っていきたい。普段から考えておく災害が起きた時、対応することが出来る。
- ・周りを知っておかないと自分・生活を守れない。
- ・大切な人を守るために自分ができることだから。
- ・いざという時に少しでもパニックを防ぐため。
- ・「防災」をする・しないで大事な物・人・こと、命の分かれ目になる。
- ・日頃からボランティア団体に活動しているため。
- ・大切にしたいことは何か？と改めて考えたことがなかったので、いい機会になりました。方法については、今回初めて聞いたことは少なかったので2にしました。
- ・難しい言葉もありましたが、分かりやすく話をしていただけだと思います。
- ・大人だけなら出来ることでも、子どもだったり障害があったりすることで出来なくなって、やる事があるので備えたり、知識があるのは必要だと思いました。

■ 心に残った！ 勉強になった！ 家族や友だちにも話したい！ と思うようなお話や 体験が ありましたか？

- 1 あった 18 名 ----- 2 なかった 2名 無回答 2名 ----

それは、どんなお話(体験)でしたか？

- ・障害を持っている子供に対しての備え。
- ・じゃがりこの話。友達の子供も、じゃがりこがあれば生きていけると聞いていたので笑えました。暇な時間があると初めて知ったので勉強になった。
- ・お気に入り、時間の過ごし方が大事。自分も子供も。
- ・住めるなら在宅避難というのは、まだ一般的ではないと思うので機会があれば伝えたいと思います。トイレが不足しやすいことも私はあまり気にしていなかったので伝えたいと思います。
- ・孤立。障害とは生きづらさや生きにくさ。
- ・アプリや他団体の事例。東日本大震災での発達障がい者や家族がどうしていたか。
- ・言葉でダメダメ言うのではなく×マークなど視覚的にわかるようにする。
- ・アプリ。トイレの話。普段してないことやできないことは災害時にも出来ない。何もしない時間にできること、日課を用意しておく、考えておくことが必要。
- ・避難所に行けない→自宅で過ごす。トイレの問題。

- ・被災時に具体的にどのような支援をしたらよいかが明確になりました。” 日常に近づけていく” というフレーズがとても印象的でした。
- ・もっと周りの人に普段の生活の中で障がい者の人の知識を伝えていきたいと思いました。
- ・発達障がい児等に対して、すること、考えることの大切さを伝えていきたいです。
- ・ポイントとなるフレーズとその科学的根拠を伝える勇気をもらえた。
- ・会の進め方。
- ・今日のお話は今までの防災の話と違って全てうなづける内容でした。
- ・アプリや他団体の事例。東日本大震災での発達障がい者や家族がどうしていたか。
- ・言葉でダメダメ言うのではなく×マークなど視覚的にわかるようにする。

■ 今日の防災講演会をうけて 防災について何かやってみよう！と思いましたか。

-----1 思った 20 名----- 2 すこし思った 1名----- 3 どちらともいえない 1名----- 4、5 0名

どんなことをやってみようと思いましたか。

- ・災害時の居場所を確保するためのものを揃える。子供や家族との集合場所の再確認。
- ・もう一度家にある防災グッズを見直してプラスしていきたい。
- ・時間が過ごせるグッズを考えたい。
- ・鉄筋コンクリートのマンション住まいで家具の固定ができていないので考えようと思います。キッチンでの備蓄も意識したいと思います。
- ・家族での防災についての話し合い。備えについても。
- ・紹介して頂いたアプリや事例をもっと調べてみます。
- ・トイレの用意。
- ・一人暮らしのため、日々の食品が少ないためインスタントやパスタ等長持ちするものを用意しておく。事業所としての事前準備、保護者への伝達。
- ・地元主催の防災訓練等あれば積極的に参加していきたい。
- ・普段の活動で少しずつ防災に備えた活動を話し合いやっていきたいと思いました。
- ・もし災害が起きてしまった場合、保護者様の送迎までの待ち時間児童が不安にならないように考えていきたい。
- ・日頃から対象者が違う中でボラ活動をしています。防災に限らずつながっているよ、を伝えたいと思いました。
- ・防災プレパ
- ・備蓄の見直し、家族との防災対策、避難方法等々
- ・子供の落ち着ける様なグッズを用意しておく。
- ・停電時の安全。災害時の連絡表を作る。安心するものを用意する。

■ 今日の防災講演会をうけて 災害がおきたとき 自分にも なにかできることがある！と思いましたか。

-----1 思った- 14 名---- 2 すこし思った 4名---- 3 どちらともいえない 2名 4、5 0名--- 無回答2名

■ そのほか、自由な意見、感想や 講師へのメッセージ、NPO 法人ぎふとへのご意見ご要望などがあれば 書いてください。

- ・後半、パネルディスカッションは刈谷市の場合の事例が多く、忙しい時には他市町村の方の参加だとネックになると思う。前半と後半での内容を事前に説明してあると参加しやすいと思います。もし1時間で退席出来るとわかれば行きやすいです。前半だけでももっと一般の方も聞かれたら役立つと思うことが沢山あり、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・シンポジウムが一方向的にならず双方向になってよかった。

- ・何事にも自分が落ち着いた行動が出来るように心がけたいと思いました。自分がパニックになると相手もパニックになる。
- ・本日は防災講演会を開催してくださりありがとうございます。宮崎先生の分かりやすく心にストンと入る講演、パネルディスカッションでは、より具体的なことがわかり、とてもためになりました。
- ・シンポジウムが非常に良かった。特に市の話が聞けたこと。
- ・防災に関する取り組み方の心が感じられました。ありがとうございました。
- ・色々な団体が連携することが重要だと思います。
- ・質問への回答時間が多く取られていたので、とても良かったです。
- ・資料を最初ではなく休憩中にいただきましたが、なぜでしょう？
- ・ありがとうございました。
- ・参加させて頂き、勉強になりました。